

## 母性看護専門看護師のご紹介



母性看護専門看護師 津田 充子

当院、地域周産期母子医療センターは、身体的、精神的ハリスクの妊産褥婦を多く受け入れています。私たち看護職は、特別な心身のケアを必要とする母子やその家族へ必要な看護を提供しています。また、出産年齢の高齢化や核家族化が進み、社会的ハリスクの妊産褥婦も増加しています。産前産後のサポート調整を含め、より対象者の個性を踏まえた支援の提供が重要となっています。

地域周産期母子医療センターで働く母性専門看護師として、私は、直接的ケアの提供だけでなく、外来に通院中の妊娠中から産後まで、継続的かつ包括的な支援を心掛け、必要時には多職種や地域との連携を図り、母子とその家族をサポートしています。また、看護ケアに関する疑問や課題を研究し、その結果を基に、母子ケアの質向上に向けた教育活動を積極的に展開していきたいと考えています。



産婦人科外来スタッフ



産婦人科病棟スタッフ

### 公開講座

講座名	開催日	時間	場所	受講料	申込	問合せ先
糖尿病教室	7/6, 9/7, 10/5	13:00~15:00	山崎記念講堂	無料	不要	医療社会事業課
心臓病教室	9/11, 11/27	14:00~15:00	山崎記念講堂	無料	不要	循環器科外来
がん患者・家族交流会	7/26, 10/29	14:00~16:00	5階船3階多目的室	無料	事前予約15名 予定 事前申し込み 要 電話 0422-32-2135 (直通) 月~金 9:30~18:00	がん相談支援センター
肝臓病教室	10/3, 11/15	14:30~16:00	山崎記念講堂	無料	電話 0422-32-2135 (直通) 月~金 9:30~18:00	肝臓患相談センター
プレおばあちゃん教室	7/17, 9/18, 11/20	13:00~15:00	母子保健相談室	3,000円/1人	平日15:00~16:00	産婦人科外来

★詳しくは当院ホームページ「病院からのお知らせ」・「公開講座・イベント」等でご紹介しています。



日本赤十字社  
日本赤十字病院

## 武蔵野赤十字病院

No.62

2019年 夏

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
季刊 情報誌

## Eye むさしの

### がんゲノム医療、6月から保険適用対象に



診察の様子

#### 基本理念

- 病人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

#### 基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

頼れる病院をめざします

# 武蔵野赤十字病院はがんゲノム連携病院です。

当院は“がんゲノム医療連携病院”に指定されています。

厚生労働省は、第3期がん対策推進基本計画に基づいて、中核病院11病院と連携病院156病院を、がんゲノム医療を提供する施設に指定しました。

当院は岡山大学病院と国立がん研究センター中央病院と連携してがんゲノム医療を提供しています。



## ●がんゲノム医療とは・・・

がんは、喫煙、食物、紫外線や加齢など様々な要因により、遺伝子に変化（変異）が生じ、複数の変異が積み重なって発生する「遺伝子の病気」と言われています。がんゲノム医療は、がんの発生に関係する数百個の遺伝子を網羅的に解析する検査＜がん遺伝子パネル検査＞を行い、遺伝子の変異に応じた治療を行うがん治療です。これまでの治療方法は、がんが発生した場所（臓器）ごとに決められていましたが、がんゲノム医療は、個々の遺伝子変異をもとに治療を選択する「がんの個別化医療」です。

## がん遺伝子パネル検査が保険適用になりました。

## ●がん遺伝子パネル検査



がん遺伝子パネル検査のうち2種類の検査が、2019年6月に保険適用になりました。採取したがんの組織を、次世代シークエンサーという最新の遺伝子解析装置を用いて一括して解析し変異を検出します。この遺伝子情報から、治療効果が期待できる薬剤や治療法があるかどうかを専門家チームで検討し、その結果を患者さんにお伝えします。検査は多くのステップを踏むために、オーダーしてから結果が得られるまでに1-2ヶ月程度を要します。検査は、現在がんの治療をうけていて、標準的な治療薬に効果が乏しい方が対象となります。



病理標本を作成

## ●利点と限界

がん遺伝子パネル検査で、今後の治療に役立つ情報が得られる可能性があります。がんにかかわる遺伝子の研究は日々進歩し、またその結果解釈が複雑なために、専門家が最新かつ確実な情報を用いて検討を行っています。それでもがん治療に役立つ情報が得られない可能性は残ります。選ばれた薬剤が現在かかっているがん腫で保険適用になっている場合には、通常とおりに治療を受けることができます。保険適用になっていない場合に薬剤の使用を試みる方法としては、臨床試験に参加する等があります。



患者さんに丁寧に説明



がんゲノム医療の検討会

## ●進歩してゆくがんゲノム医療

今後がんゲノム医療が進んでゆくと、ゲノム医療のデータが集積して、治療薬や診断法の開発が進み、新たな治療薬が承認されて治療に結びつくことが期待できます。多くの患者さんに良いがん治療が届けられるように、私たちはがんゲノム医療を推進して行きたいと考えています。

## ●がんゲノム医療をご希望される方は・・・

現在治療を行っている病院の担当医師にご相談ください。  
当院の受診方法は当院ホームページ、  
がんゲノム医療センターをご覧ください。



がんゲノム医療センター

